

能登ボランティア 報告

– 2025年10月 –

能登半島地震から1年と10ヶ月がたちました。
昨年12月に能登ボランティアに参加した時と
同じメンバーで再び能登に行ってきました。
報告書をまとめましたのでご覧ください。
お祈りとご支援を心から感謝いたします。

期間： 2025年10月29日(水)～31日(金)

参加： 國府 憲司、小野 照雄、小野 美津江、西岡 稔

活動場所

1日目(10/30)の活動場所③

羽咋郡志賀町にある個人宅

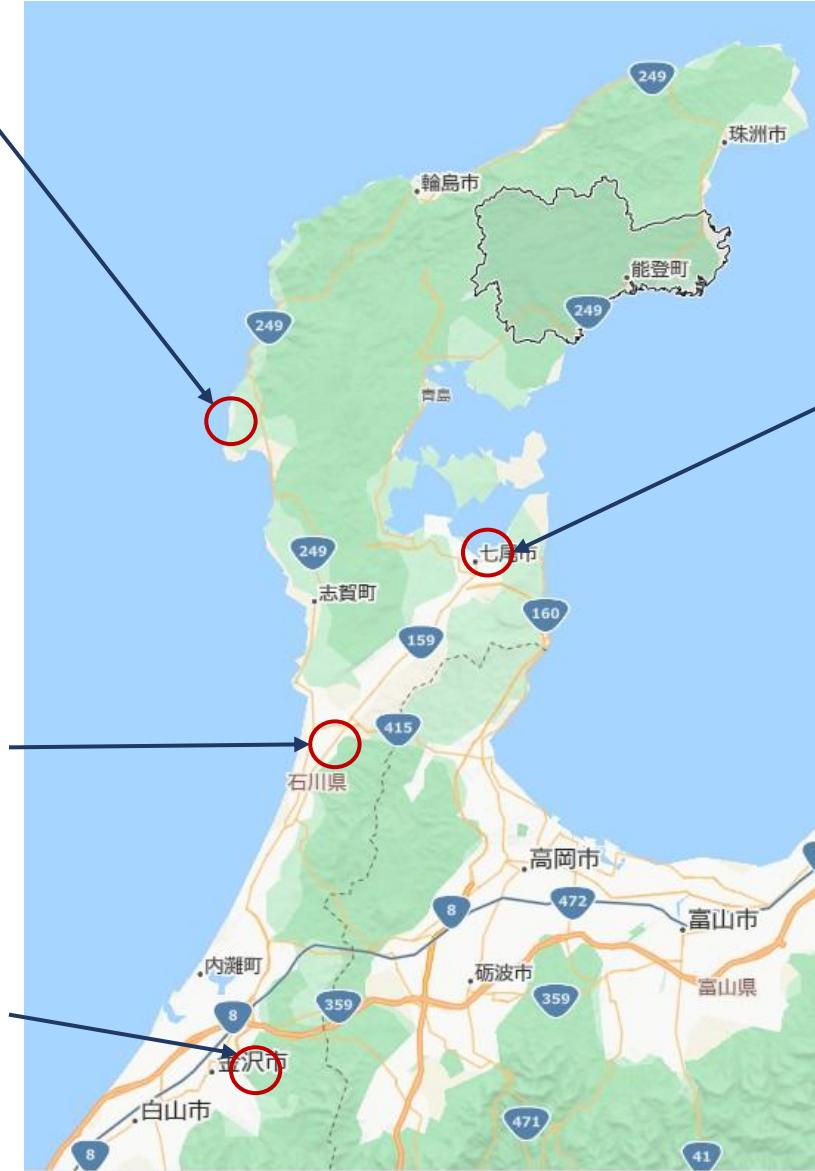
道中、傾いたままの電柱やヒビの入った道路もあり、復興が進んでいない所もありました。



毎朝、羽咋聖書教会に集合します。みことばと祈りの時をもって活動場所に向かいます。



金沢市の兼六園の近くにある金沢独立キリスト教会の施設で宿泊させていただきました。



2日目(10/31)の活動場所④

JR七尾駅近くにある飲食店

商店街にある居酒屋さんでしたが、周辺は半分以上お店を閉めておられる様子でした。



西宮から金沢までは高速で約4時間です。

②

移動日(10/29) 金沢独立キリスト教会にて



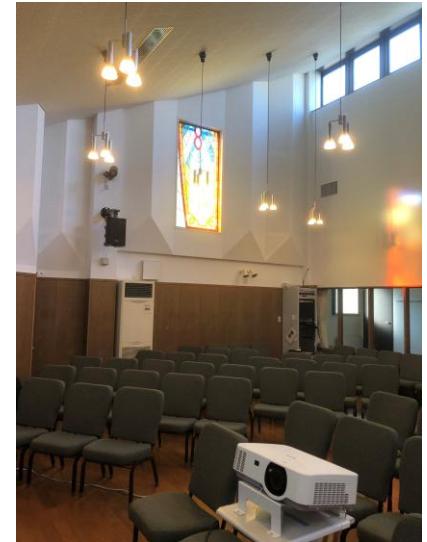
岡田仰牧師と記念写真

教会の牧師で能登ヘルプ代表でもある岡田仰先生に教会施設の案内とともに、歴史等を丁寧に紹介いただきました。

幼稚園や保育園も経営され、また長年にわたって学童に取り組んでおられ、学校帰りの子どもたちが沢山集まっていました。



礼拝堂内の様子
講壇壁の十字架は、岡田牧師作だそうです。



ステンドグラスからの光が明るい



金沢独立キリスト教会の外観



教会に隣接する歴史のある建物
最初はここが教会だったそうです。
学童の子どもたちでにぎわっていました。

③

活動1日目(10/30)



羽咋聖書教会に集合しました。
雲一つない素晴らしい天気でした。



みことばと祈りの時は、インマヌエル金沢教会の薦田先生が2コリント2:14,15から語って下さいました。「あなた方は芳しいキリストの香りなのです。」と送り出して下さいました。



一緒に活動したメンバーの皆さんです。
右端の女性は千葉の教会から単身で参加、
後方のお二人はスタッフの方々です。
(左の方は大阪から通っておられます)



家屋の公費解体が進んでいるのですが、
その前に家の中のものを全部出す必要があります。高齢者にはとてもできません。



この日は納屋のものを屋外に出しました。
廃棄するものを分別し、別のボランティアに
引継いで、翌日廃棄場に運んでもらいます。



作業の前後にお祈りします。家の方も加わってご家庭の祝福と作業の無事をともに
祈りました。作業を終えて一緒に記念写真。

活動2日目(10/31)



出発の朝、宿泊所の前で記念撮影。右から2人目は一緒に参加された教会員の方です。車中とても楽しい交わりが与えられました。



羽咋聖書教会の永井先生がヨハネ2章から最初の奇蹟はごく一部の人(しもべ)に現わされたことを熱く語ってくださいました。



一緒に活動したメンバーの皆さんです。永井先生は関西聖書神学校の卒業生で何と二川先生と同室だったとのこと。



飲食店を公費解体する前に上階からものを運び出しました。暗がりの中で床材などを剥がしたので、全身埃まみれになりました。



運び出したものを少し離れた廃棄場に持ち込みます。そこで分別作業を行っている別のボランティアグループに引継ぎます。



トラックからの荷下ろしです。指定された区画に運びます。途中から雨が降り出しましたが濡れる前に作業は終わりました。

1. 被災者の皆様の上に、神様の慰めと平安が豊かにありますように。
2. 能登ヘルプが被災地の方々にキリストの愛の心をもって真心から接し、
仕えることができますように。
3. 被災地で活動している全ての方の健康が守られますように。
4. 能登ヘルプの世話人、スタッフ等が主の御心にそった働きができるように。

能登ヘルプホームページ <https://notohelp.bousai.network/> より

参加メンバーからひと言コメント

國府 憲司

皆さんのお祈りとスマイル献金からのご支援、又お弁当代まで捧げてくださり深く感謝します。能登では公費解体が進められていて、作業は解体前の内部片付け。埃だらけになりながら上階から運び出して分別作業。別れ際、ありがとね、又来てねと言ってもらいました。

小野 美津江

少しずつ復興の様子が、屋根瓦、道路、作業の内容を通して感じられた。能登ヘルプに来る依頼の内容も、現在は解体前の荷物の運び出しなどが多いそうだ。しかし、見えるところの回復で私は能登を忘れてしまうかもしれない。大切な心を癒すための支援がコンサートやカフェ、炊き出し、学童を通しての子供たちの支援が行われている。
今回はお世話になった教会での出会いや、朝のデボーションでのメッセージ等、親しい時間も持たせていただいて、送り出してくださった皆さんに感謝します。

小野 照雄

今回は二日間の作業で解体する建物の中の物品を運び出す作業でした。特に3階建ての飲食店のご夫妻がこの後店は再開しないとのことを聞き寂しい感じがしました。
輪島の方には行ってないですが復興は少し感じました。
宿泊させて頂いた金沢独立キリスト教会、ボランティアの起点となる羽咋聖書教会での良き交わりの時を持たせていただき感謝致します。

西岡 稔

多くのご支援をいただき、祈りをもって送り出してくださったことを感謝します。
復興に向けて前進しているものの、まだまだ時間がかかる状況であることを強く感じました。
公費解体が進む一方で、高齢者だけでは荷物の運び出しあり難いと支援が必要とされています。
現地のキリスト教会が連携・協力して、神さまの愛をもって人々に寄り添い、仕えておられる姿を垣間見させていただきました。有志の方々と改めて一緒に能登に行ければと願っています。